

調査にご協力ください

ウミガメが定置網に入ったら



網からの引き上げ方

写真のようにウミガメの前肢に縄をかけ、引き上げてください。その際、片足だけに縄をかけるとウミガメの自重で脱臼する可能性がありますので、できるだけ両肢にかけてください。



引き上げたら

・港へ連れて戻れる場合

帰港するまで船の甲板に仰向けの状態で置いておいてください。

うつ伏せの状態ですと甲板を歩き回り、危険です。帰港後、港へ置いておく際も仰向けの状態で置いてください。

※ウミガメは肺が背中側にあるため、長時間仰向けにすると苦しくなります。調査機関が到着するまで時間がかかる場合は、1tタンクの中などに入れて置いていただくと助かります。その際、水は入れずに空タンクにうつ伏せの状態置いてください。弱っているウミガメは少しの水でも溺死する可能性があるためです。



・港へ連れて戻れない場合

ウミガメの四肢に標識タグがないか確認していただくと助かります。また、写真撮影をしていただくと、種類の判別が容易になります。

※何かお困りの際は、いつでもお問合せください

NPO 法人 日本ウミガメ協議会 (平日) 072-864-0335

(土日祝) 0980-85-4341